



明治150年記念シンポジウム

学校建築の変遷 ～継承と発展～

明治5年の学制発布以降、我が国では近代教育制度の発展充実に努め、今日、世界的にも高い教育水準を得るに至りました。その礎となる学校施設についても、各時代において様々な工夫が凝らされ、その時代が抱える課題への対応が図られてきました。

明治維新から150年にわたる先人の知恵を振り返り、これからの学校施設の在り方を考えていきます。

平成30年11月2日（金） 13：00～17：45

東京国際交流館 プラザ平成（定員 250名）参加費無料

最寄り駅：ゆりかもめ「船の科学館」東口より徒歩約3分／りんかい線「東京テレポート」B出口より徒歩約15分

▶ 参加を希望される方は、文部科学省HPよりお申し込みください。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/events/1408381.htm

－ プログラム －

13:00～13:10 開会挨拶

13:10～14:10 学校建築事例解説（明治～戦中）

川島 智生 京都華頂大学教授

14:10～15:10 学校建築事例解説（戦後～平成初期）

長澤 悟 東洋大学名誉教授

<休憩>

15:30～16:30 学校建築事例解説（平成中期以降）

伊藤 俊介 東京電機大学教授

16:40～17:40 パネルディスカッション 「継承と発展」

上野 淳 首都大学東京学長

川島 智生 京都華頂大学教授

長澤 悟 東洋大学名誉教授

伊藤 俊介 東京電機大学教授

寺岡 悌二 別府市教育長

北村 康子 板橋区立志村第四中学校長

主催



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN